

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和06年12月12日

計画の名称	泉佐野市下水道整備計画（その４）（重点計画）													
計画の期間	令和０７年度　～　令和１１年度（５年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	泉佐野市													
計画の目標	・下水道整備を計画的に行い、市民にとって快適で衛生的な生活ができるまちづくりを目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		14,343	A	14,311	B	0	C	32	D	0	効果促進事業費の割合 C / （Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0.22	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R7当初）	（R9末）	（R11末）
1	下水道処理人口普及率を46.2％（R7年度当初）から53.1％（R11年度末）に増加させる。			
	下水道処理人口普及率（％）	46％	50％	53％
	下水道処理人口普及率＝（下水道を利用できる人口（人）／住民基本台帳人口（人）） 住民基本台帳人口：令和6年3月31日現在　99,080人			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）		事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	泉佐野市	直接	泉佐野市	管渠（ 污水）	新設	湾岸中部処理区	污水管	污水管渠 200~600mm、L=31km、実施設計	泉佐野市						14,311	-	-
												小計						14,311		
												合計						14,311		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
水道・下水道事業	C07-001	下水道	一般	泉佐野市	間接	個人	-	新設	水洗便所改造奨励金交付 事業	交付金5万円×640件	泉佐野市						32	-	-
		水洗便所改造奨励金を交付することにより下水道利用を促進し、事業効果拡大を図る。																	
											小計						32		
											合計						32		

事前評価チェックシート

計画の名称： 泉佐野市下水道整備計画（その４）（重点計画）

事前評価	チェック欄
I．目標の妥当性	
1）計画の目標が『泉佐野市都市計画マスタープラン』など、基本方針と適合している。	○
I．目標の妥当性	
2）『大阪湾流域別下水道整備総合計画』など、上位計画等と整合性が確保されている。	○
I．目標の妥当性	
3）地域の課題を踏まえて計画の目標が設定されている。	○
II．計画の効果・効率性	
1）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II．計画の効果・効率性	
2）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II．計画の効果・効率性	
3）目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II．計画の効果・効率性	
4）指標・数値目標が市民にとってわかりやすいものとなっている。	○
III．計画の実現可能性	
1）計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III．計画の実現可能性	
2）持続的な社会資本整備が必要とされている。	○
III．計画の実現可能性	
3）計画（事業）の必要性について市民の理解を得られている。	○

(参考図面) 良好な都市・水環境整備













